

# ご入学、ご進級おめでとうございます

4月9日（月）、79名の1年生が入学し、全校生徒241名、全職員32名で中央中学校の平成30年度がスタートしました。申し遅れましたが、相生中学校から異動してまいりました校長の寺島と申します。中央中が開校した年から3年間、教頭としてお世話になっておりましたので、7年ぶり2回目の中央中勤務になります。より良い学校づくりを目指して教職員全員が力を合わせて頑張りますので、平成30年度も保護者の皆様のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。また、ご意見、ご質問等がありましたら、ご遠慮なく学校にお知らせください。

## 通信名「いま拓（ひら）く」 とは

学校通信は、これからの一年間、学校全体の活動などを保護者の皆様にお知らせする大切な場ですので、その名前もお子さんの成長への思いを反映した言葉にしようと考えました。それには校歌の中の言葉に注目するのが一番です。

なぜならば、その学校が望む生徒像や教育目標、意気込みなどを表した言葉がちりばめられたものこそ校歌に他ならないからです。前任校、そのまた前任校でも通信のタイトルは校歌の歌詞の言葉を使いました。

そこで、始業式で7年ぶりに本校の校歌を歌いながら、タイトルにふさわしい言葉は何か考えました。その結果、「君と学ぼう」「その友情（こころ）」「花薫る」「美しき丘」「虹光る」などふさわしい表現がたくさんあるなかで、最も心に響いたのが三番の終わりの方にある「いま拓（ひら）く」でした。「開拓」という熟語が示すように「拓」には自力で原野を突き進む力強さが感じられます。「開」に比べて苦勞を伴うイメージがあることは確かですが、そのぶん、誰も通っていない場所を切り拓くパイオニアとしての気概が込められています。また、いろいろな勉強、様々な体験、数々の人たちとの出会いを通じ、生涯にわたって突き進むことのできる道を探し出し、切り拓くことこそ中学校に期待されている役割ないかとも思います。それが「いま」の二文字に集約されていると感じました。

「いま拓（ひら）く」。しばらくの間は不思議な響きを持ったタイトルとして感じられるかもしれませんが、どうか、よろしく願いいたします。

### <平成29年度末人事異動>

#### 【転出・退職等】（退職・転任・転補）

校長 今泉 周二先生 → 退職  
教諭 岡田 治美先生 → 退職  
教諭 小林 真樹先生 → 相生中へ  
教諭 星野 雅美先生 → 広沢中へ  
教諭 阿部 麗 先生 → 群馬大学附属中へ  
初任研後補充 ライト 幸江先生 → 相生中へ（講師）  
相談員 中里 薫 先生 → 退職

#### 【転入】（転任・転補・新採用）

校長 寺島 達也 ← 相生中から  
教諭 川合 啓子先生 ← 川内中から  
教諭 吉川 明子先生 ← 川内中から  
教諭 鎬木美恵子先生 ← 相生中から  
相談員 北島 宏之先生 ← 境野中から

## 平成30年度中央中学校スタッフ

平成30年度の中央中学校教職員を紹介します。お困りのこと、ご不明な点など、何でもお気軽にご相談ください。

1年 学年主任 下山 隆史 社会 軟式野球  
1組担任 藤井 啓太 国語 軟式野球  
2組担任 川合 啓子 保体 バスケ女子  
スキースケート駅伝  
3組担任 前原 稔彦 数学 ソフトテニス男

副担任 吉川 明子 音楽 吹奏楽  
4組担任 垂井 学 英語 バドミントン  
4組副担任 鎬木美恵子 技・家  
教育活動支援員 諏訪垂紗子 1年生の学習支援

2年	学年主任	須田 理恵	理科	陸上
	1組担任	山本 幸司	保健	バスケット男 スケート <small>（駅伝）</small>
	2組担任	本間 亮太	英語	バレーボール
	3組担任	國枝 里江	美術	美術 <small>（職）</small>
	副担任	梶原 文枝	数学	卓球サッカー スケート
	日本語指導	山田 学		
3年	学年主任	岩沢 誠典	数学	サッカー
	1組担任	関 宗一郎	技・家	バレーボール （水泳）
	2組担任	尾池 靖子	理科	吹奏楽
	副担任	佐々木 良	国語	ソフトテニス女 （駅伝）
	副担任	板垣 佳奈	英語	バドミントン
	教務主任	阿久津 泰	社会	陸上 <small>（駅伝）</small>

【学年外】	養 護	須藤久美子
	主任事務長代理	稲垣江里子
	栄 養 教 諭	朝倉真由美
	スクールカウンセラー	田村 幸子
	教育相談員	北島 宏之
	A L T	ブレット・バーセル
	A L T	ラトーニャ・ライト
	図書館管理補助員	高橋 妙子
	スクールソーシャルワーカー	石原 晴美
	主任技術員	杉浦 秀行
	臨時用務員	小林 清
	教 頭	伏見 和枝
	校 長	寺島 達也

### 【平成30年度第1学期始業式で寺島が語ったこと】

中央中の新しい一年が始まりました。平成30年度のスタートです。

今年度も学校教育目標は変わりません。開校以来一貫して「自ら学び、創造し、実践できる心豊かな生徒の育成」を目指しています。この基本目標よりも思い浮かべやすい具体目標があります。言えますか？「ちゅうおう」という学校名で覚えられると思います。具体目標は、「共に磨き合う中で」「ち」知性「ゆ」友情「う」運動「お」思いやり「う」潤いのある学校です。この具体目標の中で、最後の【潤い】が中央中独自のものかなと思います。と言うのも、知性や友情、運動、思いやりは他の学校でも目標に掲げられていることが多いのですが、【潤い】を掲げている学校はそれほど多くないと思われるからです。

そもそも【潤い】とは何でしょうか？手元の国語辞典を調べたところ、①水気、湿り。②物質的な足し、ゆとり。③しっとりとした趣、人情 味と出ていました。物と物、あるいは人と人とが交（まじ）わるとき、その関わりがよくなるよう間を取り持つものでも言ったらよいでしょうか。例えば、自動車のエンジンなど、スムーズに回転させる必要がある機械に差す油のことを「潤い、滑らかにする油」と書いて【潤滑油】と言いますが、その潤滑油の潤は潤いを指します。

それでは、学校における潤いとは何を指すのでしょうか？言うまでもなく学校はたくさんの人と人が交わる場所ですから、人間関係を滑らかにする働きこそが【潤い】の正体ということになるわけです。私はその答えを漢字二字の熟語だと考えているのですが、皆さん、何だか分かりますか？ ちょっと答えを思い浮かべてください。

これだけの人がいるわけですから、中には正解を思い浮かべた人がいるかもしれません。それは「信頼」だと私は考えています。

それでは、なぜ信頼が大切なのでしょう？説明できる人いますか？

「信」という言葉を思い浮かべてください。この漢字は、どのようなパーツでできているのでしょうか？そう、「人」を表すにんべんと、言葉を表す「言」ですね。

すなわち、信頼は人が発する言葉によって生まれ、維持されるということを表していると考えられます。普段の日の授業を思い出してください。言葉によって成り立っていますね。言葉がなければ私たちは何もできないといっても言い過ぎではないでしょう。

それくらい言葉に頼っているのですが、人は、時として嘘をついたり、残酷な言葉を他の人にぶついたりしてしまいます。当然、嘘や汚い言葉などを使った場合、人との信頼関係はあっという間に崩れてしまいます。

信頼を大切にすることは、言葉を大切にすることに他なりません。皆さん、自分の口から発する言葉に責任を持ちましょう。できるだけ美しい言葉を使いましょう。

最後に、新しい年の始まりで、あまり慣れていない人たちとつくる人間関係に潤いを与えてくれる魔法の言葉を二つお伝えしてお話を終わりにします。平成30年度のスタートに当たって、みんなで魔法を掛け合しましょう。

その言葉とは、「おはよう」と「ありがとう」です。一年間よろしくお願ひします。